

データシート STCS evo500TS

STCS-evo500TSは赤外線収縮機です。

卓上設計の機器で一度に一つワークの加工を行います。

タッチスクリーンを搭載しており、ネットワークにも対応しております。

エンドスプライス、丸端、その他の特殊ワークへの対応も可能です。(オプション)



参照
14-01-0024
採用技術
赤外線

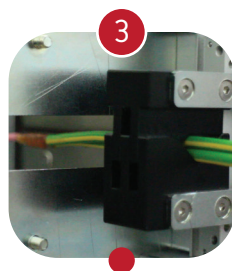
参照動画



1
タッチスクリーンの搭載により革新的なインターフェイスを実現



2
次世代の通信規格に対応したインターフェイスを搭載。
イーサネット、USB、HDMI、Wi-Fiなど



3
スプライス部の測長機能 (オプション*SDD)



4
コンパクト設計

仕様

動作温度

Mini	250 [°C]
Max	550 [°C]

寸法

長さ	496 [mm]
幅	293 [mm]
高さ	255 [mm]
重さ	16,5 [kg]

電源/消費電力

電源	230 [V] @ 50Hz
消費電流 (電力)	500 [mA] to 3 [A] (Max.700W)

接続

エア	Quick Hold Socket - Ø8 [mm]
空気圧	Min. 5 bar; Max. 7 bar; Rec. 6 bar

電源コード	1 IEC Standard Male Socket (取り外し可能)
-------	--

バーコードリーダー プログラミング	USB タッチスクリーン、バーコード リーダー、外部機器
----------------------	------------------------------------

インターフェイス	タッチスクリーン、ブザー、LED
----------	------------------

収縮チャンバー

収縮チャンバー	Ø32x77 [mm]
ケーブル長さ [Min]	227 [mm]
チューブ径 [Max]	20 [mm]
チューブ長さ [Max]	75 [mm]

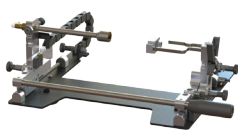
キャリブレーション

キャリブレーションプローブ	参照.: 06-01-0278
---------------	-----------------

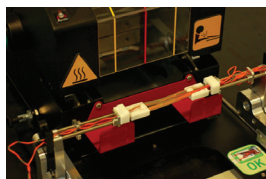
特徴

- 収縮温度、時間などの設定が可能です。;
- 2種類の作業モードを搭載：<M1>温度、時間の設定が可能です。<M2>登録したプログラムにより動作(999個まで);
- スプライス部の測長 (SSD) と自動での設定値変更の為にM3モードを搭載。(オプション);
- プログラムはマニュアル、もしくはPCソフト (Excel使用)、USBメモリから設定可能。;
- リファレンスの選択は、バーコードリーダーで自動で行うか、タッチスクリーン上でマニュアルにて行えます。;
- ファームウェアのアップデートは、USBから簡単に行えます。;
- リファレンス内の設定項目を細分化したラベル機能を搭載。;
- 冷却機能。(オプション);
- 自動、もしくは手動でのキャリブレーション。;
- プログラミングモードはパスワード保護。;
- ハード部品のメンテナンス用デバッグモードを搭載。;
- 温度読み込みとオフセット調整の為に外部プローブ接続部搭載。;
- 部品の長寿命化の為に自動冷却システム搭載。;
- 部分的やトータルなどの豊富な計測機能。;
- 作業時間の計測。;
- 超音波溶着機との接続が可能。;
- ネットワークコミュニケーション。;
- ディスプレイへの接続用にHDMIポートを搭載。;
- 英語、ポルトガル語、フランス語、スペイン語に対応。

オプション



- エンドスプライスツール
参照: 26-23-0010



- CANツール
(ノーマルスプライス)
参照: 26-23-0014

- 丸端ツール
参照: 26-23-0021

- SDDシステム
参照: 06-01-0230

- CANツール
(エンドスプライ)
参照: 26-23-0013

- 冷却システム
参照: 06-01-0229

- HDMIポート
参照: 06-01-0233